

大阪府議会議長 様

**府立高校改革アクションプランの「今後１５年で３２校減」の試算の撤回、
門真西高校・懐風館高校の募集停止の撤回、府立学校条例の見直しを求める請願**

【請願趣旨】

大阪府教育委員会は１１月１０日、「今後１５年で府立高校３２校減」と試算する府立高校改革アクションプラン、府立門真西高校・府立懐風館高校の２０２７年度からの募集停止を正式決定しました。これは、大阪の高校を守る会が１１月７日に提出した８千名を超える府民の反対署名を無視するものであり、きわめて不当です。

第一に、府立高校改革アクションプランの試算の前提は「１学級４０人、１学年７クラス」という過大・過密な学校規模ですが、不登校増大など、これまで以上に一人一人に丁寧な教育が求められており、高校でも少人数学級を実施すべきです。仮に「１学級３０人」で試算すれば高校を減らす必要はありません。

第二に、門真西高校、懐風館高校は、いずれも地域で大切な役割を果たしており、廃校にすれば、子どもたちの学ぶ権利が奪われます。懐風館高校は羽曳野市内唯一の高校であり、門真西高校はほとんどの生徒が自転車を通う学校です。公教育保障の責任を負う大阪府は、いずれの地域にも「自転車を通える」学校を維持すべきです。

第三に、そもそも公立高校の定員は「超えてはならない上限」であって「満たさなければならない下限」ではありません。府立高校の定員は制度上も「ゆとり」がもたされており、「定員割れ」は学校の責任ではありません。定員の意味を意図的に混同し「定員割れ」校にマイナスイメージをつけて廃校対象とする府立学校条例の規定は撤廃すべきです。

以上のことから下記について強く要請します。

【請願事項】

- 府立高校改革アクションプランの「今後１５年で３２校減」の試算は撤回し、ただちに府立高校の少人数学級化に踏み出すこと。
- 大阪府立学校条例の「３年連続して定員に満たない高校は再編整備の対象」の規定を撤廃し、志願倍率を理由にした高校つぶしをやめること。
- 府立門真西高校・府立懐風館高校の募集停止を撤回し、子どもたちの学ぶ権利を保障するため、地域の府立高校を維持すること。

【請願者】

年 月 日

住所	
団体名	
代表者	

連絡先：大阪の高校を守る会（〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11-707 ☎(06)6768-2106）